

<H25-No21 : 地図編集 : 問題>

図 21 は、電子国土ポータルから国土地理院が提供している地図 (一部改変) である。図中の「箱根ロープウェイ」の「桃源台駅 (駅中心)」から「姥子駅」を経由し「大涌谷駅 (駅中心)」までのロープウェイの経路に沿った標高断面図として最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

ただし、標高断面図における高さは約 5 倍に強調されている。

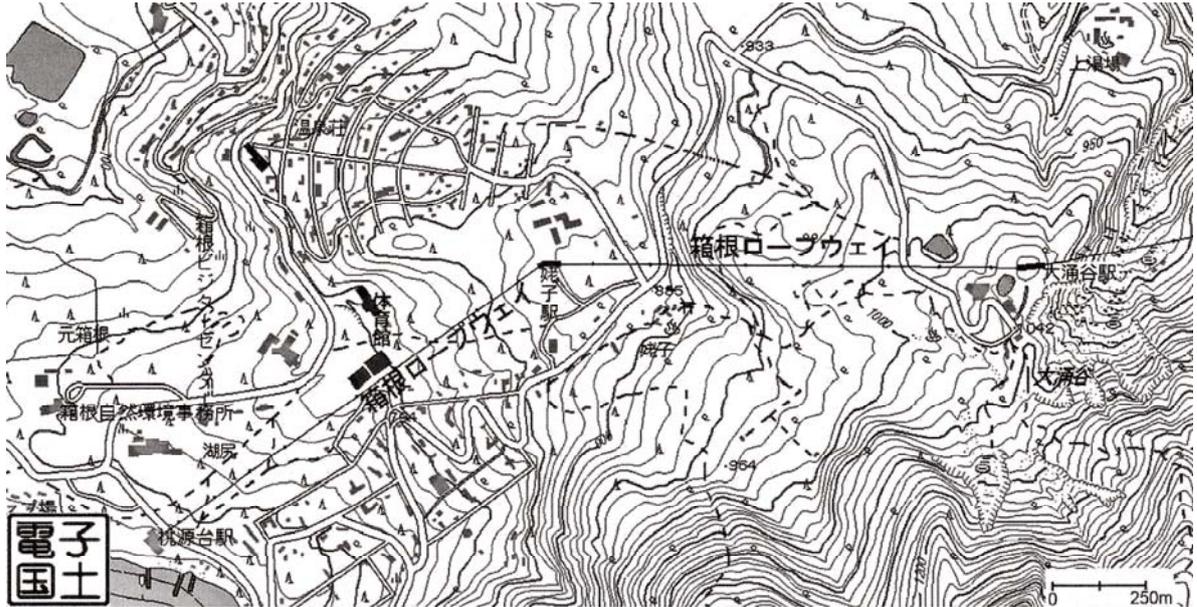
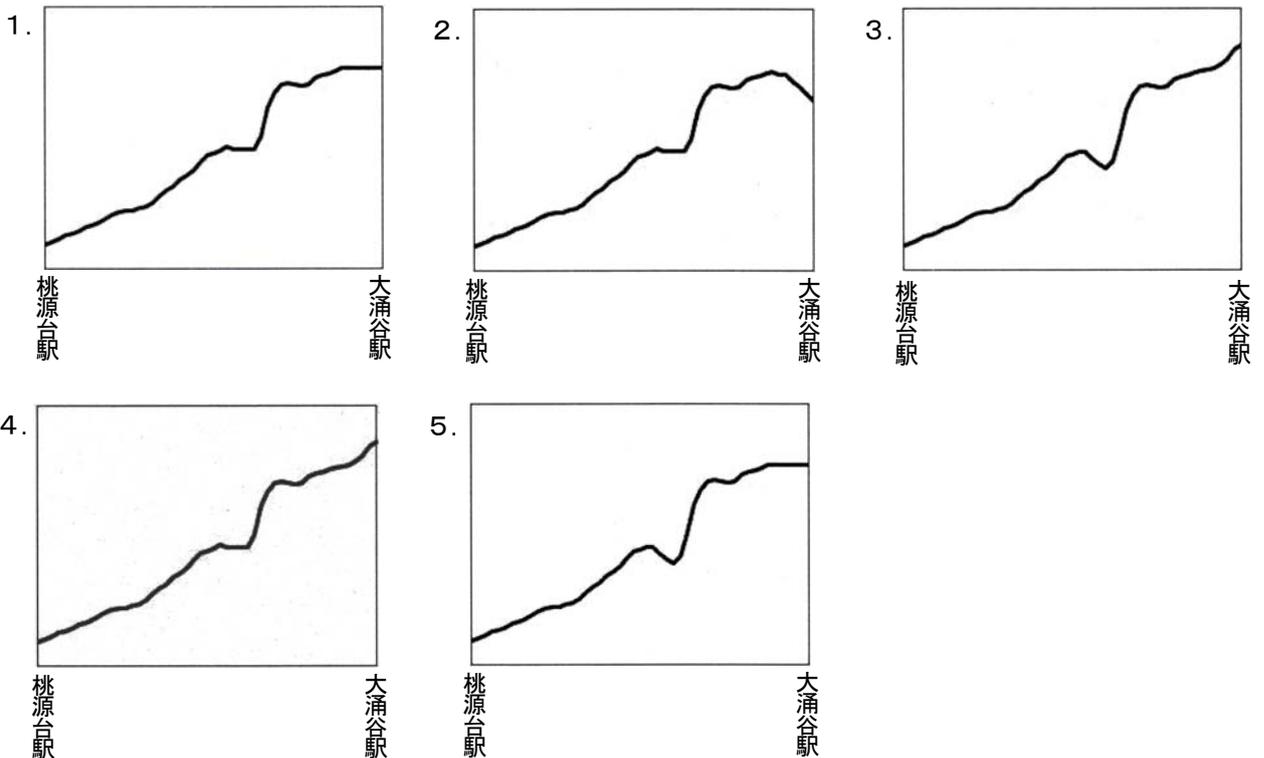


図 21



<H25-No22 : 地図編集 : 問題>

次の文は、地図投影法について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 地図投影とは、回転楕円体面上の経緯度を平面上の座標値に変換することである。
2. 正距図法は、地球上のすべての地点間の距離が、同一の比率で地図上に表示される図法である。
3. 正角図法は、地球上の任意の二方向に引いた方向線のなす角と、地図上のこれに対応する角とが等しくなる図法である。
4. 正積図法は、地球上の任意の範囲の面積が、縮尺に応じて地図上に正しく表示される図法である。
5. 地図上において、正角図法と正積図法の性質を同時に満足させることは、理論上不可能である。

<H25-No23 : 地図編集 : 問題>

次の文は、数値地形モデル（以下「DTM」という。）について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

ただし、DTM は、等間隔の格子点上の標高を表したデータとする。

1. 格子間隔の小さいDTMよりも格子間隔の大きいDTMを用いた方が、地形のより詳細な断面図を作成することができる。
2. GISを用いて、DTMとベクタデータを重ねて表示することができる。
3. DTMをGISに読み込むと、任意の地点の標高を求めることができる。
4. DTMを作成するには、航空レーザ測量による方法以外に、空中写真測量による方法や等高線データから作成する方法がある。
5. DTMから、標高値の範囲ごとに彩色した段彩図を作成することができる。

<H25-No24 : 地図編集 : 問題>

図 24 は、電子国土ポータルから国土地理院が提供している地図 (一部改変) に、湿原の範囲を太線で示したものである。F 市では、この湿原の管理を目的として現況測量の実施を計画しており、湿原の大まかな面積が必要となった。図中の太線で囲まれた範囲の面積の概算値は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

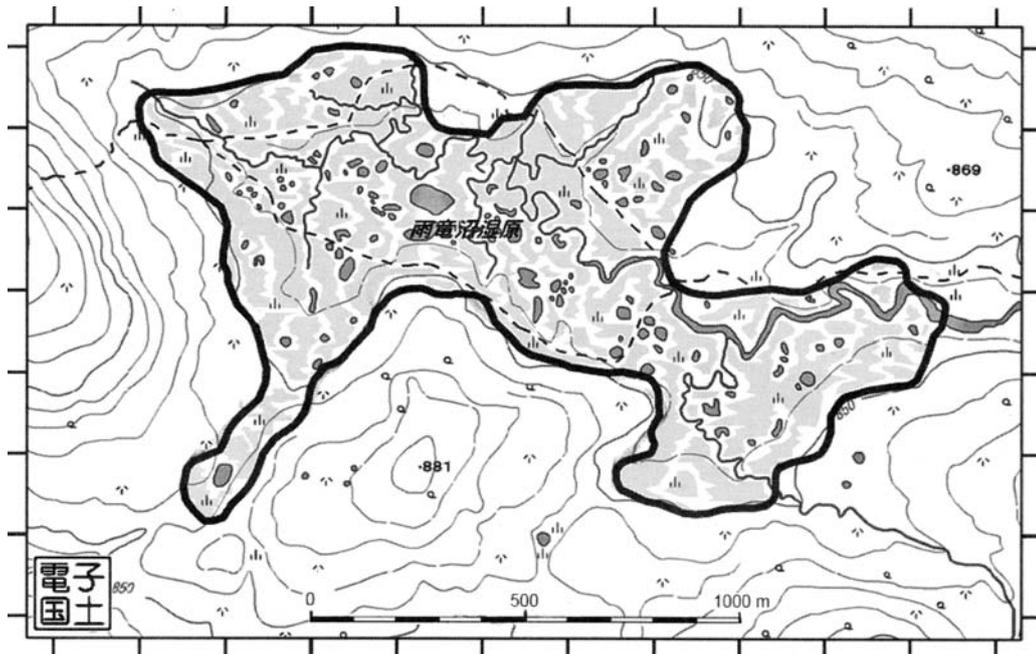


図 24

1. 0.11 km²
2. 0.54 km²
3. 0.68 km²
4. 1.07 km²
5. 1.56 km²